

令和6年5月14日

第二次多摩市読書活動振興計画策定委員会資料

「多摩市読書活動振興計画」取り組み状況

目標 市民の「知る」を支援し、自ら考え、共に課題を解決できる、心豊かな地域をはぐくみます。

(1) 誰もが使える図書館

	取り組み／具体的な取り組み	計画前期（平成28～30年度）	計画後期（平成31～令和2年度）	計画延長（令和3～6年度）
1	より利用しやすくするための配慮 ・乳幼児を連れた保護者の利用を配慮し書架を工夫 ・未利用者のニーズ把握。 ・未利用者を視野に入れた、講演会、講座等の開催。	検討・実施 ・書架配置の検討と実施。 未実施 ・ニーズの調査など 検討 ・講座等の開催による情報発信方法の検討。	実施 ・各館での実施 - ベビーカーの動線確保 ・絵本、児童書の近くに育児支援コーナーを設置（2館） ・図書館本館再整備基本・実施設計のなかで中央図書館に、親子利用のしやすい本の配架、動線等を配慮した 未実施 実施 ・図書館が開催する読書に関連するイベント情報をホームページの他公式ツイッター、市内掲示板等で情報発信した	継続実施 ・令和5年7月に中央図書館が開館し、親子で利用しやすい本の配架、動線を配慮した 実施 ・令和5年度に一般を対象にした図書館アンケートを実施 継続実施 ・令和4年度、5年度に多摩中央公園で実施しているイベントに参加した他、中央図書館開館に合わせ、イベントや講演会等を開催し、情報発信した

2	若年世代の図書館利用の促進 ・ニーズの把握。 ・ティーンズ等が声を出して利用できる学習スペース等の工夫。 ・図書館ホームページの充実、積極的な情報発信。 ・SNS活用検討。	実施 ・ニーズの調査など ・「第三次多摩市子どもの読書活動推進計画」でアンケートを実施 検討、実施 ・情報発信方法の検討 未実施	実施 ・中学生の職場体験実習を受け入れた際に図書館の利用状況を聞き取りした 実施 ・夏休み期間中にグループ学習ができる場所を設定（2館） 実施 ・ティーンズのページに企画展示やイベント情報を掲載し、情報発信した 検討 ・多摩市公式 SNS の活用を検討	実施 ・令和5年度に中学生以上を対象した図書館アンケートを実施した 継続実施 ・令和5年7月に開館した中央図書館にラーニングコモンズやグループ研究室を設置し、グループ学習ができる環境を整えた 継続実施 ・令和3年度からココリア多摩センター前のデジタルサイネージで図書館本館や電子図書館等の情報を発信 ・図書館ホームページのトップページのバナーを活用し情報発信した ・令和5年度に多摩市公式ホームページに中央図書館の特設ページを設置 実施 ・イベントや企画展示、電子書籍の新着案内などの情報を積極的に多摩市公式 SNS で発信
---	---	---	--	--

3	多文化サービスの推進 ・市内に定住する外国籍の方に向けた外国語資料の収集の強化 ・資料の貸出、関係機関のパンフレットの配布などの情報提供	実施 ・ニーズの調査など 実施 ・外国語資料の貸出	実施 ・学校図書館司書研修において、外国語資料に関するアンケートを実施 ・多摩市国際交流センター、文化・市民協働課との意見交換 実施 ・国際交流センターへ図書館利用案内(外国語版)の設置 ・国際交流センター広報へ定期的に本の紹介等を掲載 ・日本語学習コーナー、多読資料コーナーを本館に設置	実施 ・国際交流センターと連携し、図書館利用についてアンケートの実施を検討、実施予定 ・令和4年度から電子書籍(洋書)を購入 継続実施 図書館利用案内(外国語版5か国語)を作成、図書館及び国際交流センターに設置
	活動指標	平成26年度実績	令和5年度実績	令和6度末の目標
	0～5才の利用率 (年度延べ貸出者数を年齢別人口で割った数値)	0.79	1.14	1.0以上
	10代後半と20代の利用率(同上)	10代後半:1.72 20代:1.75	10代後半:2.24 20代:2.07	2.0以上
	外国語資料所蔵数	4,423冊	7,269冊 390点(電子書籍)	8,000冊

<評価等>

- ・中央図書館では、1階、2階のコンセプトを明確にし、2階はおしゃべりや読書が楽しめるフロアとしたことで、子育て世代や若年世代の利用が増加し0～5才の利用率や10代後半、20代の利用率も目標を上回った。
- ・中央図書館は、グループ学習ができる席や多様な種類の閲覧席を用意し、Wi-Fi環境を整えたことにより、若年世代の利用が増えた一方で、利用の状況は自習利用が多く、引き続き図書館資料の利用を促す取り組みが必要。
- ・日本語を母語としない市民の図書館利用を促すため、外国語資料の所蔵数は目標を下回っており、引き続き情報発信と資料の充実に努めていく必要がある。

(2) 子どもへのサービスの充実

	取り組み／具体的な取り組み	計画前期（平成28～30年度）	計画後期（平成31～令和2年度）	計画延長（令和3～6年度）
4	多摩市子どもの読書活動推進計画の推進 ・第二次計画の推進と第三次計画の検討、策定を行う	実施 ・第二次計画の推進 第三次計画の検討、策定。 ・重点施策を決め取り組みをすすめた	実施 ・第三次計画の初年度にアクションプランを作成し、年1回の振り返りや情報共有に活用 ・重点施策を決め取り組みをすすめた	継続実施
	活動指標	平成29年度実績	令和5年度実績	令和6年度末の目標
	「子どもと本を楽しんでいる」と答える保護者の割合	1歳6か月児健診受診者 95% 3歳児健診受診者 88%	1歳6か月児健診受診者、3歳児健診受診者 87.3%	1歳6か月児健診受診者 99% 3歳児健診受診者 95%
	多摩市内の全保育園、幼稚園における団体貸出の利用率	保育園 33% 幼稚園 11%	保育園 30% 幼稚園 22%	保育園 50% 幼稚園 50%
	読書について「好き」「どちらかといえば好き」と答える児童、生徒の割合（マンガ、雑誌を除く）	小学2年生 93% 小学5年生 84% 中学2年生 75% 高校2年生 69%	—	小学2年生 95% 小学5年生 90% 中学2年生 80% 高校2年生 75%

※評価指標は、「第三次多摩市子どもの読書活動推進計画」の評価指標

<評価等>

「第三次多摩市子どもの読書活動推進計画」の振り返りを参照

(3) 市民や地域に役立つ図書館

	取り組み／具体的な取り組み	計画前期（平成28～30年度）	計画後期（平成31～令和2年度）	計画延長（令和3～6年度）
5	読書活動に取り組む団体の支援 ・団体貸出を通じて図書館以外でも資料を提供できる場の提供 ・リサイクル資料を団体へ提供 ・団体へ資料提供がスムーズにできる方法の検討	継続実施 継続実施 ・学校など団体向けリサイクル本の頒布会を実施 検討、実施 ・学童クラブ向けセット貸出について検討、準備	継続実施 継続実施 ・学校など団体向けリサイクル本の頒布会を実施 実施 ・学童クラブ、児童館向けのセット貸出の実施 ・セット貸出の利用アンケートの実施	継続実施 継続実施 ・令和5年度から子ども食堂へのリサイクル本の頒布を実施 継続実施 ・令和5年度から保育園・幼稚園へのセット貸出を実施
6	読書活動振興のためのイベントの開催 ・「ビブリオバトル」や「一箱古本市」など本を紹介した市民参加型の交流イベントの開催	実施 ・ビブリオバトルの開催 ・本の福袋イベントを実施 ・福祉館と連携し高齢者を対象としたおはなし会を実施	実施 ・ビブリオバトルの開催し、バトルで紹介された本をバトルの紹介文とともに展示（令和元年度） ・本の福袋イベントの実施 ・福祉館と連携し高齢者を対象としたおはなし会を実施（令和2年度、令和3年度は休止）	継続実施 ・令和5年度対面でのビブリオバトルを再開実施 ・令和4年度から高齢者が大学生と一緒に本を探し、話し合う「図書館カフェ」を実施 ・令和3年度から本の福袋や年末年始に特別な展示を実施

7	読書活動に関心を高めるための事業の実施 ・地域課題に合わせた企画展示の実施 ・企画展示とともにテーマに合わせた情報を掲載した資料の配布、ホームページへの掲載	実施 ・各図書館で企画展示を実施 準備	実施 ・各図書館で企画展示を実施 実施 ・各図書館で企画展示にあわせたブックリストを作成、配布し、図書館ホームページへ掲載	継続実施 継続実施
8	地域資料の活用による地域文化の継承 ・本館再整備後に地域資料コーナーの拡大 ・行政資料、郷土資料の収集・保存の強化 ・地域資料のデジタル化の検討	準備 実施 ・地域資料の利用促進のためパルテノン多摩と連携し企画展示、講演会を 検討	検討 ・中央図書館での地域資料の書架について検討 実施 ・全館に多摩市を知るコーナー設置 ・行政資料室だよりを発行 検討、実施 ・令和2年度地域資料をデジタル化 ・各課発行資料を電子化し電子図書館に掲載	継続実施 ・令和5年中央図書館開館。地域資料コーナー拡大 継続実施 ・令和3年度に社会科副読本、郷土写真などをデジタル化
	活動指標	平成26年度実績	令和5年度実績	令和6年度末の目標
	団体への貸出冊数及び提供したリサイクル資料点数(市内小中学校を除く)	15,506冊(貸出冊数のみ)	18,704冊 市内小中学校を除く 施設へのリサイクル 点数：冊	18,000冊 (令和6年度実績)
	ビブリオバトル開催回数／参加者数	未実施	10回／220人 (平成28年～令和5年度)	10回／200人 (平成28年～令和6年度)

	市民による企画展示回数	未実施	6 回 ※大学、書店との連携を含む	1 回
	デジタル化資料公開点数	未実施	185 点	100 点

＜評価等）

- ・学校図書館の調べ学習の利用や児童館、学童クラブへの団体貸出は、利用が多く、目標冊数を上回っており、引き続き教員への周知を図り取り組んでいく。
- ・ビブリオバトルについては、コロナ禍で令和 2 年度から令和 4 年度は対面での実施ができなかったが、令和 5 年度に再開し、目標を達成できた。また令和元年度、令和 5 年度は中高生の部と大学生から一般の部と 2 部に分けることで若年代の参加を促すことができた。
- ・本館閉館、中央図書館開館記念イベントのアイデアを市民から募集し、市民協働で企画展示をしたほか、大学や書店と連携し大学生や書店に選書をしてもらい、職員が選書した本と一緒に展示を行った。
- ・令和 2 年度に多摩市デジタルアーカイブ、多摩市電子図書館を開始し、地域資料のデジタル化を行い、公開している。

（４） しらべるを支え、つながる図書館

	取り組み／具体的な取り組み	計画前期（平成 28～30 年度）	計画後期（平成 31～令和 2 年度）	計画延長（令和 3～6 年度）
9	地域課題解決の支援 ・地域の課題解決に対応した行政資料、行政情報の収集・整備 ・多摩市の行政課題に対応した企画展示、先進事例の紹介等の情報提供	実施 ・行政資料や行政資料を収集、整備 ・市役所各課と連携した図書展示、講演会への出張展示し、展示に合わせてパスファインダー（調べ案内）を配布	実施 ・市役所各課と連携した図書展示、講演会への出張展示し、展示に合わせてパスファインダーやブックリスト、講演会のチラシなどを配布し市民にひろく周知	継続実施

9	・レファレンス事例のデータの蓄積とホームページ上での公開 ・国立国会図書館のデータベースへの登録 ・図書館ホームページ内の「調べものQ&A・質問集」のページの更新 ・レファレンス資料の探し方や使い方、オンラインデータベースの利用講座の実施	実施 ・受け付けたレファレンス記録の蓄積 実施 ・平成 30 年に図書館システムを更新し、調べもののページを更新 未実施	実施 ・受け付けたレファレンス記録の蓄積 ・レファレンス事例の公開データの見直し、新規データの公開 未実施 ※新規の登録なし 実施 ・ブックリストの掲載 ・テーマ資料の登録 実施 ・オンラインデータベース利用講座の実施	実施 ・令和 5 年度から図書館ホームページ上でレファレンス受付を開始 ※新規の公開データなし 実施 ※令和 5 年度末新規登録なし。令和 6 年度に図書館ホームページで公開しているデータを登録予定 継続実施 企画展示のブックリスト、パスファインダーの登録 継続実施 令和 5 年度に電子図書館で利用できるオンラインデータベース利用講座を実施
10	デジタル資料の提供 ・国立国会図書館の図書館向けデジタル化資料送信サービスへの参加、館内閲覧の開始 ・地域資料のデジタル化を検討	準備、実施 ・平成 30 年国立国会図書館の図書館向けデジタル化資料送信サービスへ参加（閲覧のみ） 検討 ・地域資料のデジタル化の検討	実施 ・国立国会図書館のデジタル化送信サービスの複写サービスの実施に向けた検討 実施 ・令和 2 年度から地域資料をデジタル化し公開	継続実施 令和 5 年度国立国会図書館のデジタル化資料送信サービスの複写サービスを開始 継続実施

10	・電子書籍サービスの導入を検討	検討 ・電子書籍サービスの検討	実施 ・令和2年度に電子図書館サービス開始	継続実施
	活動指標	平成26年度実績	令和5年度実績	令和6年度末の目標
	多摩市立図書館ホームページ上のレファレンス事例公開件数	192件	188件	220件

<評価等>

・多摩市立図書館ホームページ上でのレファレンス事例公開をするためには、蓄積しているレファレンスデータから公開データを精査し、公開決定したものについては回答内容や資料に漏れがないかどうか調べなおす必要がある。また公開している情報についても、情報が古くなっていないか精査をするため、公開件数を増やすことができなかった。

(5) 弾力的な管理・運営

	取り組み／具体的な取り組み	計画前期（平成28～30年度）	計画前期（平成31～令和2年度）	計画延長（令和3～6年度）
11	本館の機能強化 ・これからの図書館に求められる新たなサービスを展開し、中心館としての機能を満たすよう本館を再構築する	検討 ・平成28年度に策定した多摩市立図書館本館再構築基本構想をもとに具体的な検討を深め、平成30年8月に「多摩市立図書館本館再整備基本計画」を策定した。平成30年9月から公募型プロポーザル方式で設計者選定を行い、平成31年2月から基本・実施設計の取り組みを開始した	検討、実施 ・基本設計については、平成31年2月に着手し、令和元年7月にまとめた。これを基に8月から実施設計に取り組み、当初、令和2年3月の完了を目指していたが、設計の一部を修正する必要性が生じたため、業務期間を令和2年5月まで延長した	実施 令和3年から建設工事を開始し、令和5年3月に竣工、7月に中央図書館が開館。 10月に多摩中央公園にブックパーク完成

12	図書館コンピュータシステムの見直しによるサービス向上 ・ 目録データを活用し資料検索等を充実しレファレンス機能を向上できるように図書館システムを見直す ・ 利用者が館内端末やインターネットから検索や予約がより便利になるよう見直す ・ スマートフォンからの検索に使いやすい画面を導入 ・ ホームページでよりタイムリーに情報発信ができるように見直す	検討、実施 ・ 平成 30 年 7 月図書館第 V 期コンピュータシステムを稼働し、検索機能が向上するとともに、メール等を活用した新たなサービスが始まり利用者サービスが向上した ・ ホームページの更新がよりタイムリーにできるようになった	継続実施	継続実施 ・ 令和 6 年 7 月図書館第 V 期コンピュータシステム機器入れ替え予定
13	職員体制の見直し ・ 常勤職員数の見直しと専門性の向上、窓口業務、バックヤード業務等における役割を見直す ・ 嘱託職員を含めた職層ごとの長期的育成を考えた計画を検討し実施 ・ レファレンス研修を定期的に実施し、職員のレファレンス能力の向上を図り、組織化によるノウハウの向上	検討 実施 ・ 人材育成計画を作成し、研修の実施、外部研修への職員の派遣 実施 ・ 定期的に課内研修や外部研修などによるレファレンス研修を実施	検討 ・ 職員体制、業務の効率化について内部検討 実施 ・ 人材育成計画を作成し、研修の実施、外部研修への職員の派遣 実施 ・ 課内研修や外部研修などによるレファレンス研修を実施	継続実施 令和 4 年度に職員体制、業務の見直しを検討し、令和 5 年 4 月組織改正実施 継続実施 継続実施

14	ボランティア活動の促進 ・読書活動振興のため催しなど、より多様なボランティア活動促進に向けた検討	検討	検討 ・先進自治体図書館の見学など情報収集	検討・実施 ・令和5年度に図書館でイベント等を実施するための企画の立て方などを学ぶワークショップを開催 ・令和6年度に市民からイベント企画を募集し、企画者を含めた市民と開催イベントを決定し、協働で開催する仕組みを検討、実施
15	事業計画の策定と点検評価 ・評価し改善につなげられるような事業計画作り ・事業計画及び評価について公表に向けた検討。外部評価の検討	検討・実施 ・事業計画の策定と公表 ・平成30年度事業評価について検討し、平成30年度の事業計画から実施とする	実施 ・平成30年度事業から事業評価（自己評価・外部評価）を実施、公表。事業評価を事業計画に反映させる ・事業評価方法について見直し、検討	継続実施
16	ICTの活用 ・ICタグの導入により貸出作業、予約図書受け取りを自動化し、業務の効率化やサービスの質の改善などの検討	検討 ICタグの導入を検討し、財源や費用対効果等の見極め	実施 ・中央図書館での利用を見据え、令和2年にICタグ関連機器を関戸・永山図書館に導入。導入にあたって導入後の業務の効率化や改善を検討	継続実施 ・令和5年ICタグ関連機器を中央図書館に導入

17	蔵書の適正管理 ・ IC タグの活用による 亡失対策の検討 ・ 水濡れ等汚破損の状 況改善のための啓発や 利用者マナーの向上、防 止につながる取り組み	検討 実施 亡失や水濡れ、書き 込み等の防止の啓 発活動等の実施	実施 ・ 令和 2 年に関戸、 永山図書館に IC タ グを利用したゲート を設置 実施 ・ 「やまばと通信」に 啓発記事を掲載	継続実施 ・ 令和 5 年に中央図書 館に IC タグを利用し たゲートを設置 継続実施
	活動指標	平成 26 年度実績	令和 5 年度実績	令和 6 年度末の目標
	本館の開館時間の拡大	18 時まで	20 時まで	20 時まで
	本館の開架冊数	11 万点	万点 ※中央図書館開館時 20 万冊目標	25 万点
	国立国会図書館の図書 館向けデジタル化資料 送信サービス利用実績	未実施	平成 30 年度から閲 覧サービス開始、令 和 5 年 9 月から複写 サービス開始 (導入から令和 5 年 度末までの累計)	300 件 (導入から令和 2 年 度末までの累計)
	図書館費に占める人件 費率(唐木田図書館の窓 口業務委託を含む)	約 80%	約 65% ※多摩市立中央図書 館本館再整備事業費 除く	75%
	事業計画の策定と自己 評価の実施、公表	未実施	実施	毎年実施

<評価等>

- ・ 中央図書館の開館時間・開館日は。平日・土日祝日とも午後 8 時までと拡大し、多くの方が利用できる環境を整えた。
- ・ 中央図書館の開館時の開架冊数を 20 万冊を目標に購入等を進めたが、専門書などは単価が高いこともあり、目標冊数には届いていないため、引き続き、資料の充実に努めていく。
- ・ 国立国会図書館の図書館向けデジタル化資料送信サービスについては、サービスの周知を引き続き行っていく。
- ・ 事業計画の策定は「多摩市読書活動振興計画」を基に毎年度策定し、自己評価、外部評価を行い、公表しており、次期計画策定後も引き続き実施していく。